

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション上場取引所 東  
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,256	△4.7	112	△53.1	34	△80.8	2	△97.2
26年3月期第3四半期	5,517	2.6	239	31.6	181	55.5	93	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 81百万円(△19.1%) 26年3月期第3四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	0.11	—
26年3月期第3四半期	5.17	5.05

(注) 当社は平成25年12月6日付でライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,582	4,504	43.2
26年3月期	10,035	4,460	40.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,138百万円 26年3月期 4,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.40	1.40
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	1.1	100	△60.9	20	△88.0	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	23,484,226株	26年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	450株	26年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	23,483,994株	26年3月期3Q	18,145,702株

(注) 当社は平成25年12月6日付でライツ・オフリング (ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て) に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向が持続し、消費増税後低迷していた個人消費も持ち直しの兆しが見えるなど、総じて緩やかな景気回復基調で推移しましたが、足許では急激な円安やユーロ圏・中国の景況感の悪化などが懸念材料として浮上してきました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高5,256百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益112百万円(前年同期比53.1%減)、経常利益34百万円(前年同期比80.8%減)、四半期純利益2百万円(前年同期比97.2%減)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、広告収入や電子書籍販売が引き続き好調だったものの、特に当第3四半期連結会計期間において書店店頭販売が減少したこと及び在庫圧縮を進めたことなどから、売上高1,878百万円(前年同期比6.7%減)、セグメント利益(営業利益)178百万円(前年同期比32.6%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、外資系クライアントからの引き合いが第2四半期連結会計期間の前半に弱含みだったもののその後回復し、売上高631百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)85百万円(前年同期比1.8%減)とほぼ前年同期間並みの業績となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォンコンテンツ・メディア事業が引き続き順調に拡大し、PCブラウザゲーム運営なども好調さを維持した結果、売上高1,086百万円(前年同期比14.9%増)、セグメント利益(営業利益)37百万円(前年同期はセグメント損失28百万円)と大幅な増収増益になりました。

インターネットカフェ事業におきましては、消費増税の影響を受けたことや、店舗内装工事の実施やPC入替など当第3四半期連結累計期間にわたり競争力強化のための諸施策を実施したことから、売上高904百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益(営業利益)4百万円(前年同期比89.5%減)となりました。

教育・人材事業におきましては、医療人材紹介事業が順調に拡大し研修事業も引き続き好調に推移したものの、利益率の高いサーバ製品の受注が引き続き弱含みで推移したことなどから、売上高707百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント損失(営業損失)25百万円(前年同期はセグメント利益31百万円)となりました。

投資運用事業におきましては、前年度にあった大口債券償還の反動減などにより、売上高48百万円(前年同期比71.7%減)、セグメント利益(営業利益)24百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、営業投資有価証券187百万円増加、現金及び預金482百万円減少並びに受取手形及び売掛金220百万円減少を主因に、前連結会計年度末比453百万円減の9,582百万円となりました。負債については、流動負債その他139百万円増加、有利子負債531百万円減少及び買掛金82百万円減少を主因に、前連結会計年度末比496百万円減の5,078百万円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金98百万円増加及び利益剰余金30百万円減少を主因に、前連結会計年度末比43百万円増の4,504百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、平成26年10月29日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,310	2,828
受取手形及び売掛金	1,654	1,434
有価証券	20	20
営業投資有価証券	741	928
商品及び製品	1,009	1,020
仕掛品	91	118
原材料及び貯蔵品	19	22
繰延税金資産	84	43
その他	105	125
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,037	6,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618	1,639
減価償却累計額	△805	△850
建物及び構築物（純額）	812	788
土地	1,089	1,089
その他	946	916
減価償却累計額	△829	△810
その他（純額）	116	106
有形固定資産合計	2,018	1,984
無形固定資産		
のれん	-	1
その他	46	62
無形固定資産合計	46	63
投資その他の資産		
投資有価証券	208	266
敷金及び保証金	412	419
繰延税金資産	171	164
その他	148	150
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	933	993
固定資産合計	2,998	3,041
資産合計	10,035	9,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	453	370
1年内償還予定の社債	874	847
短期借入金	908	788
未払法人税等	61	17
賞与引当金	36	20
返品調整引当金	128	113
その他	505	645
流動負債合計	2,967	2,802
固定負債		
社債	1,286	914
長期借入金	888	875
役員退職慰労引当金	73	77
退職給付に係る負債	245	261
資産除去債務	30	30
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	74	107
固定負債合計	2,608	2,275
負債合計	5,575	5,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	564	534
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,952	3,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	200
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	116	215
新株予約権	4	4
少数株主持分	386	361
純資産合計	4,460	4,504
負債純資産合計	10,035	9,582

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	5,517	5,256
売上原価	3,437	3,238
売上総利益	2,080	2,017
返品調整引当金繰入額	11	-
返品調整引当金戻入額	-	15
差引売上総利益	2,069	2,033
販売費及び一般管理費	1,830	1,921
営業利益	239	112
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	29	-
負ののれん償却額	0	-
受取家賃	1	1
その他	8	4
営業外収益合計	42	8
営業外費用		
支払利息	37	32
社債発行費	13	15
株式交付費	16	-
支払保証料	13	10
為替差損	9	17
その他	9	8
営業外費用合計	99	85
経常利益	181	34
特別利益		
固定資産売却益	1	0
保険差益	2	-
新株予約権戻入益	0	0
持分変動利益	-	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除却損	3	4
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	182	31
法人税、住民税及び事業税	38	23
法人税等調整額	37	25
法人税等合計	75	49
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	107	△17
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△20
四半期純利益	93	2

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	107	△17
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	98
その他の包括利益合計	△6	98
四半期包括利益	100	81
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86	101
少数株主に係る四半期包括利益	13	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	2,013	646	946	955	785	170	5,517	—	5,517
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	0	74	—	9	—	121	△121	—
計	2,050	646	1,021	955	794	170	5,639	△121	5,517
セグメント利益又は セグメント損失(△)	264	87	△28	41	31	26	422	△183	239

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△183百万円には、セグメント間の内部取引消去32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△215百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	1,878	631	1,086	904	707	48	5,256	—	5,256
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	2	55	—	8	—	104	△104	—
計	1,915	633	1,142	904	716	48	5,360	△104	5,256
セグメント利益又は セグメント損失(△)	178	85	37	4	△25	24	305	△193	112

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△193百万円には、セグメント間の内部取引消去32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△226百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「有価証券投資事業」について量的な重要性が増したため、事業名称を「投資運用事業」と変更した上で、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。